安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

# 家具調トイレAR-K1
# 爽快シャワー取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびは家具調トイレAR-K1爽快シャワーをお求めいただきましてまことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、取扱説明書は大切に保管してください。

## もくじ


| | |
|---|---|
| 安全上のご注意 | 1~4 |
| 各部のなまえと同梱部品 | 5・6 |
| ご使用前の準備と確認 | 7~10 |
| 必要に応じて行う項目 | 7・8 |
| 温水洗浄便座の試運転 | 9・10 |
| 使いかた | 11~17 |
| 基本的な使いかた | 11・12 |
| 温水洗浄便座機能<br>シャワー調節／便座・温水温度調節<br>脱臭機能／呼出しブザー／節電機能 | 13~16 |
| その他の機能 | 17 |
| お手入れの方法 | 18~22 |
| 水抜きのしかた | 23 |
| 定期点検／上手な使いかた | 24 |
| 故障かな？と思ったら | 25・26 |
| 仕様 | 28 |

ARONKASEI CO.,LTD.

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。 |
| ⚠注意 | 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。 |

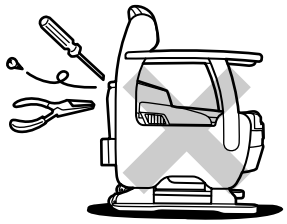
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

**必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**

**してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

## ⚠警告

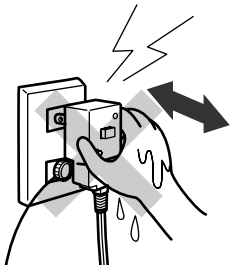
### 改造はしないこと。また、修理技術者以外の人は､分解したり修理をしないこと



感電や発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

### ぬれた手で、漏電しゃ断器のプラグの抜き差しはしないこと



感電の原因になります。

### 温水洗浄便座本体、本体底部や漏電しゃ断器のプラグに水や洗剤をかけないこと

感電やショートして火災の原因になります。

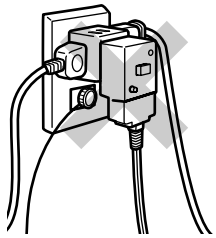
### 電源コード・漏電しゃ断器のプラグを破損するようなことはしないこと

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり重い物を載せたり、束ねたりしないこと

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

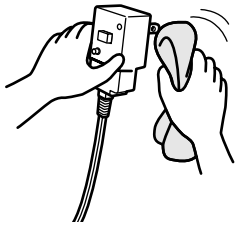
●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや､交流100Ｖ以外での使用はしないこと



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 漏電しゃ断器のプラグのほこりなどは定期的にとること



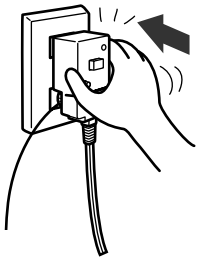
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

### 漏電しゃ断器のプラグは根元まで確実に差し込むこと



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

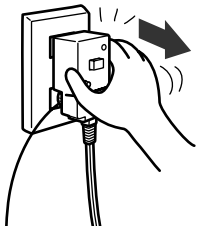
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 便座の低温やけどに注意すること

次のような方が使用されるときは、温度調節を「低」にするなどまわりの方が注意すること
お子様、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方など思うように動けない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚が弱い方、自分で温度調節のできない方、眠気を誘う薬(睡眠薬・風邪薬など)を服用された方、深酒、疲労の激しい方

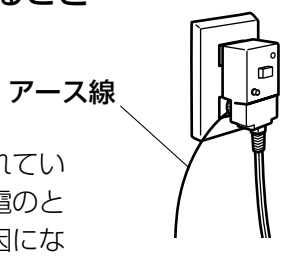
●便座に長時間皮膚の同じ場所が触れていると低温やけどの原因になります。

### 温水洗浄便座本体をポータブルトイレから取り外してお手入れするときは電源プラグを抜くこと



感電の原因になります。

### アース（D種接地）工事がされていることを確認すること




アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因になります。

●アース工事はお買い上げの販売店にご依頼ください。

### 浴室内など湿気の多い場所には設置しないこと

感電や火災の原因になります。

### 給水タンクに熱湯、消毒液や薬品などを入れないこと

やけどや皮膚の炎症を起こす原因になります。

### 給水タンクに上水道以外の水を入れないこと

ぼうこう炎、皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障などを起こす原因になります。

### 給水タンクに浄水器を通したアルカリイオン水などを入れないこと

樹脂が劣化し、機器が破損する原因になります。

### スライド受け板を手前に引き出した状態で便座を下ろしたり、座ったりしないこと

けがや破損の原因になります。

### 体重が100kgを超える方は使用しないこと

本体が破損する恐れがあります。

### 呼出ブザーを緊急用（ナースコール）として使用しないこと

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

**温水洗浄便座の操作部に手をついて座ったり、立ち上がったりしないこと**

破損してけがをする原因になります。

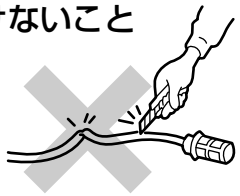
**温水洗浄便座本体に飛び乗ったり衝撃を加えたりしないこと**

破損してけがをする原因になります。

**温水洗浄便座本体の開口部などから針金など金属を入れないこと**

感電や故障の原因になります。

**給水ホースに力を加えたり、折り曲げたり鋭利なもので傷をつけないこと**



水もれの原因になります。

**本体や便座が破損したときは使用しないこと**

感電やけがの原因になります。

**長期間使用しないときは、必ず漏電しゃ断器のプラグをコンセントから抜くこと**

絶縁劣化により、火災・感電の原因になります。

**長期間使用しないときは、温水洗浄便座本体及び給水タンクの水を抜くこと**

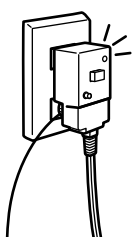
水が腐敗して、皮膚の炎症などの原因になります。

●漏電しゃ断器のプラグを抜いて水抜きしてください。

**凍結予防をすること**

凍結すると給水ホースや本体内部が破損して水もれの原因になります。
「水抜き」をしてください。

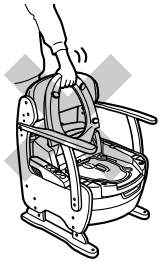
**漏電しゃ断器（プラグ付）の作動を確認すること**



故障のまま使用すると、漏電のときに感電する原因になります。

●故障の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

**持ち運ぶ時は、必ずポータブルトイレ本体を持つこと**



便座を持つと、本体から外れ破損してけがをする原因になります。

**電源コードは、じゃまにならないように配線すること**

足に引っかけ、思わぬ事故を招く原因になります。

**使用者が用便などの際、自分自身の身体を十分に安定させられないときは、介助者が付き添うこと**

**各部の調節（高さ調節など）については、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること**

**使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること**

**便座を開閉するとき、指などをはさまないよう注意すること**

けがをする原因になります。

**必ず平坦な場所で使用すること**

転倒、機器の破損や水漏れの原因になります。

**補高脚の調節は、必ず給水タンクやバケツに水が入っていない状態で行うこと**

本体（給水タンク）が転倒し、水がこぼれ床などを汚す原因になります。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

**補高脚の左右が同じ高さに設定され、ボルトでしっかり止められるか確認すること**

転倒し、けがの原因になります。

**ひじ掛けの高さを調節した後、しっかりと固定されているか確認すること**

転倒し、けがの原因になります。

**操作部目隠しカバーを着脱するときは必ず温水洗浄便座本体を完全に持ち上げてから行うこと**

本体固定板が破損する原因になります。

**バケツを取り出すときは、必ず先に便座をはね上げてから、スライド受け板を引き出すこと**

破損の原因になります。

**ボルトがゆるんでいないか、定期的に点検すること**

不安定になり、けがの原因になります。

**直射日光の当たる場所や火気に近づけないこと**

火災や変形、変色の原因になります。

**便座や座面、ひじ掛けの上に立ったりしないこと**

破損したり、転倒しけがの原因になります。

**キャスターで本体を移動させる場合、無理な段差や凹凸面では行わないこと**

本体が引っかかり、転倒やけがをしたり、故障の原因になります。

**人や物をのせたまま移動させないこと**

故障やけがの原因になります。

**バケツ内に水や汚物を入れたまま、本体を移動させないこと**

内容物がこぼれ、本体や服・床などを汚す恐れがあります。

**子供・幼児を遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと**

**落としたり強い衝撃を与えないこと**

本体が破損し、けがの原因になります。

**お手入れのときは、中性洗剤を使用し塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾールなどは使用しないこと**

破損して、けがや感電の原因になります。

**背もたれを手すりがわりに持たないこと**

転倒し、けがの原因になります。

**バケツ蓋を装着した状態や、座面を装着した状態で、洗浄スイッチを押さないこと**

ノズルが破損したり、洗浄水が吐水し床をぬらす原因になります。

**補高脚を取り外した状態で使用しないこと**

本体が不安定になり、転倒したり、けがの原因になります。

**ひじ掛けは両側を取り外して使用しないこと**

背もたれが破損し、けがの原因になります。

**電池について以下の内容を守り、正しく取り扱うこと**

- ⊕⊖は正しく入れること
- 長時間使用しないときは取り出しておくこと
- 加熱・分解したり、水・火の中に入れたりしないこと
- ネックレスなど金属物といっしょにしないこと
- 充電しないこと
- 新旧、異種の乾電池を混合しないこと
- 被ふくのはがれた電池は使わないこと

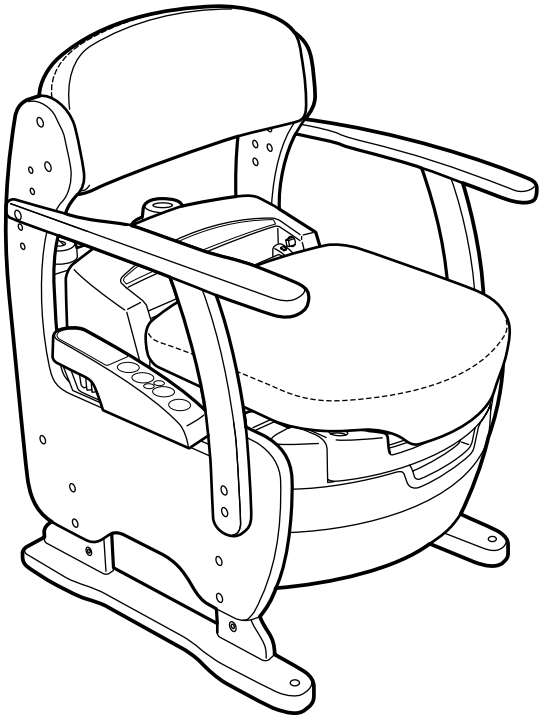
取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因になります。

- 万一液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

# 各部のなまえと同梱部品

## 同梱部品の確認

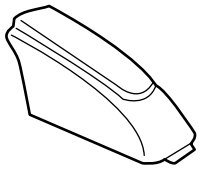
**お使いになる前に、同梱部品の確認を行ってください。**



家具調トイレAR-K1 本体

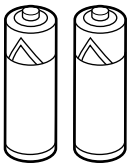
## 部　材

●操作部目隠しカバー　1個



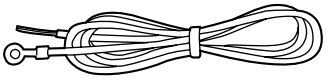
●リモコン　1個
（ホルダー付）

●リモコン用乾電池　2個

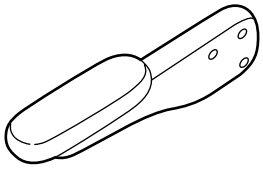


※付属の乾電池は、工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。

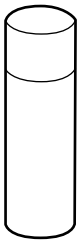
●アース線　1本



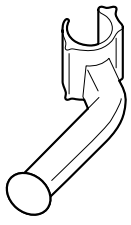
●移乗用短ひじ　1個



●防臭消耗品　1本

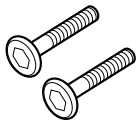


●ペーパーホルダー　1個



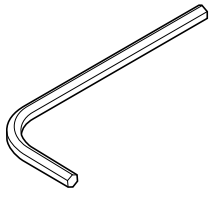
●ペーパーホルダー軸受け　1個

●ペーパーホルダー軸受け
固定用ボルト　2本
（M6×15mm）



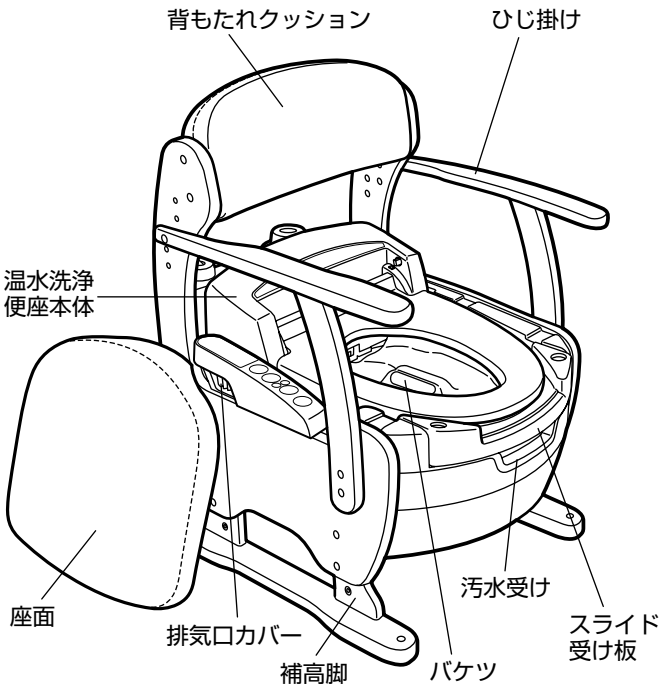
●フック（両面テープ付）
1個

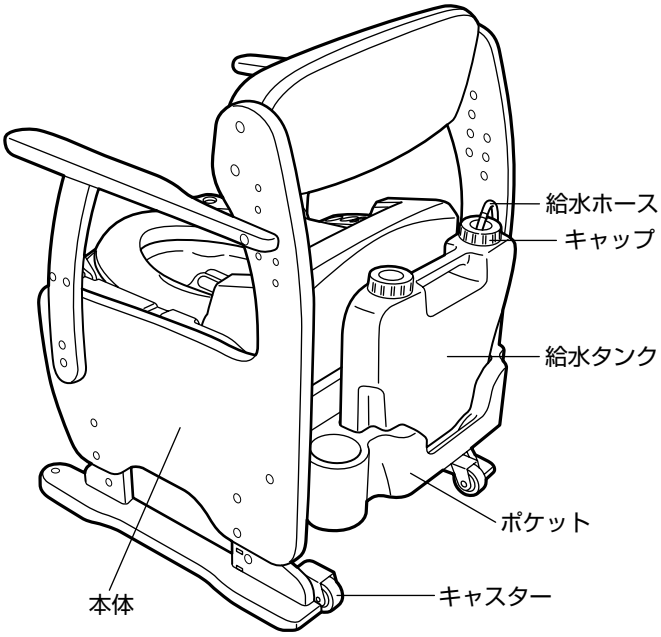
●六角レンチ　1本（4mm）



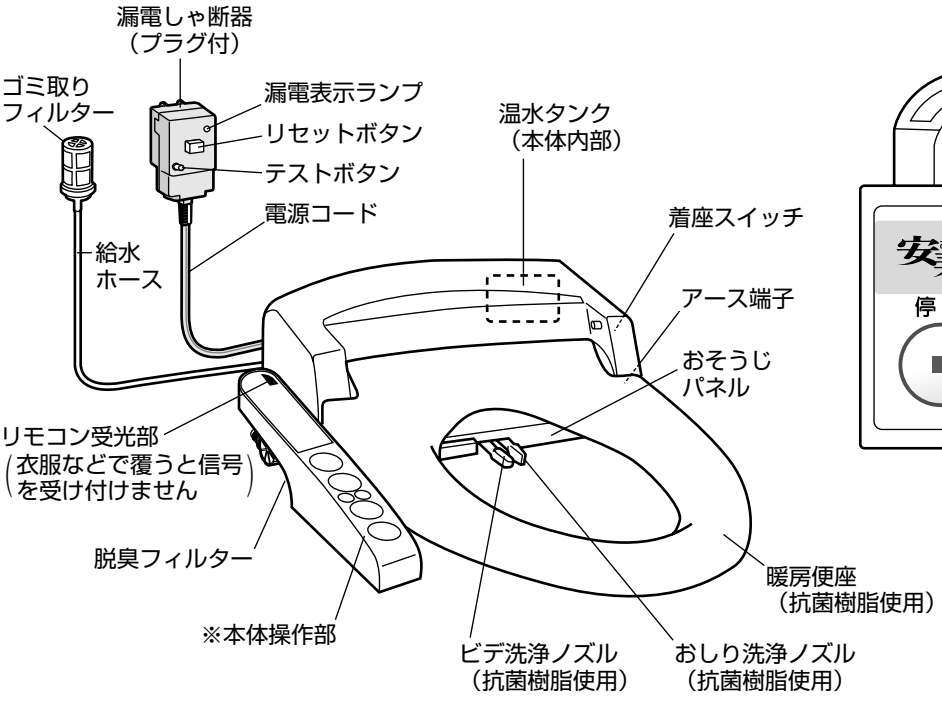
# 各部のなまえと同梱部品

## ポータブルトイレ本体

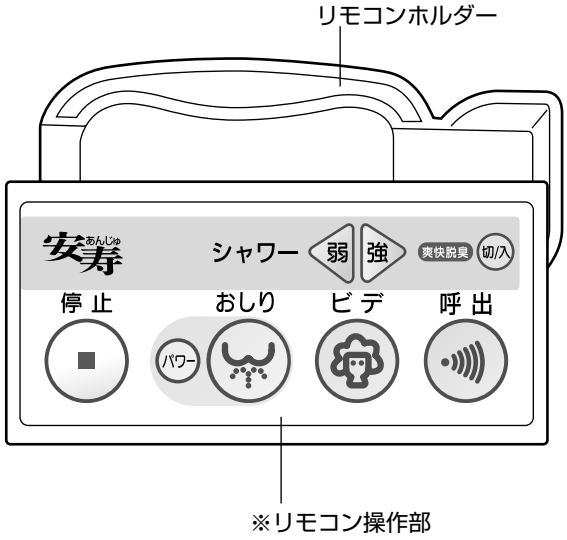



## 温水洗浄便座本体




## 温水洗浄便座リモコン



※フック（両面テープ付）は
リモコンをトイレ本体に吊
すときに、ご使用ください。

●目の不自由な方のために※部分に点字を設けています。

●傷を防止するために、本体操作部・リモコン表面に保護シートを貼っています。
不要な場合は、取り除いてください。

# ご使用前の準備と確認（必要に応じて行う項目）

## 便座（座面）の高さを調節する（高さ調節範囲33・36・39・42・45cm）

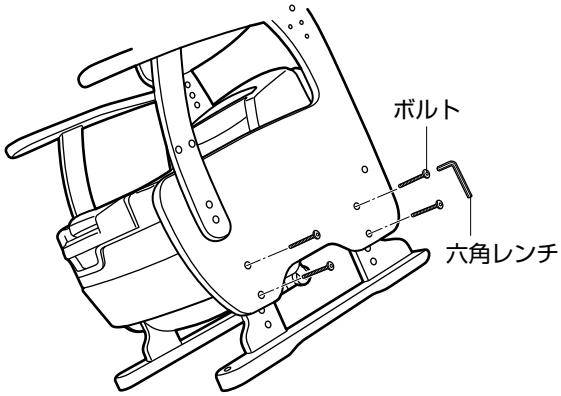
**必要に応じて、座面・便座高さを5段階調節することができます。**

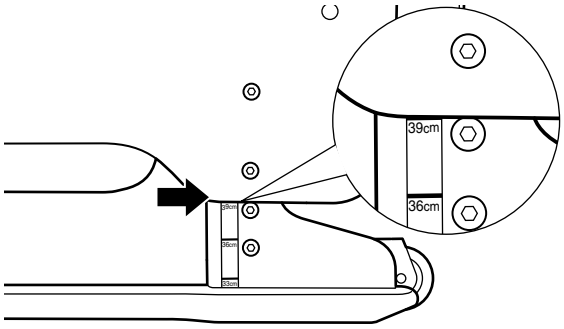
※本体を箱から取り出した時は、座面高38cm・便座高33cmに設定されています。

①本体を斜めに傾け、補高脚を固定しているボルトをゆるめ取り外します。

②補高脚を上下にスライドさせながら本体側板の下端を補高脚後脚の目盛りに合わせ、ボルト（各支柱2本ずつ）で仮止めします。

③左右の補高脚が同じ高さになるように設定し、六角レンチでしっかりと固定します。




**注意**

- **補高脚を調節して使用する場合、左右の脚が同じ高さになるように設定し、ボルトで確実に固定すること**
- **補高脚を取り外した状態で使用しないこと**
- **補高脚を45cm以上の設定で固定しないこと**
  補高脚が外れ、けがをする原因になります。
- **バケツや給水タンクに水が入っていない状態で行うこと**
  本体（給水タンク）が転倒し、水がこぼれ、床などを汚す原因になります。

## ひじ掛けの高さを調節する（高さ調節範囲21・24・27・30cm）

**必要に応じてひじ掛けの高さを4段階調節することができます。着座する際に膝への負担を軽減したり、安定した排泄姿勢を保ちたい時は、高めに設定します。**

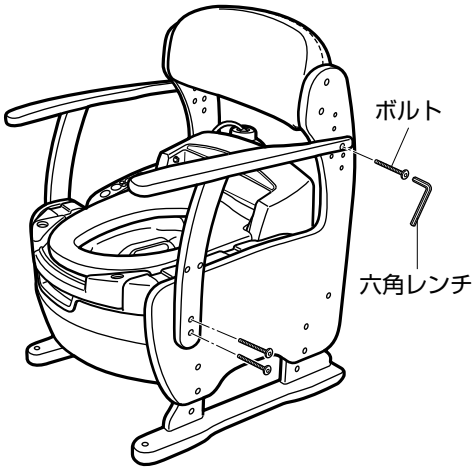
※本体を箱から取り出した時は、24cmに設定されています。

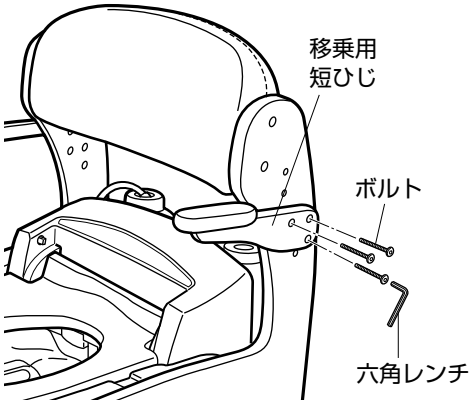
①ひじ掛けを固定しているボルトをゆるめ、取り外します。

②ひじ掛けを設定したい高さに合わせて、ボルトを挿入し、六角レンチでしっかりと固定します。

### ●ベットから座位移乗して使用する場合

ベット側のひじ掛けを取り外し、付属の移乗用短ひじをにぎりやすい高さ（便座面から21・24cmに設定可能）に設定し、ひじ掛けで取り外したボルト3本でしっかりと固定します。



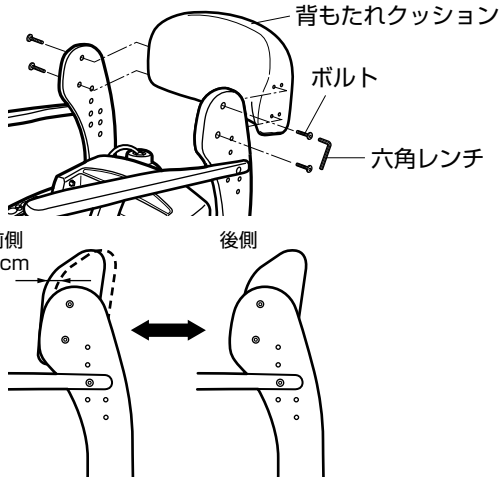




**注意**

- **ひじ掛け（短ひじ）がしっかり固定されているか確認すること**
  ひじ掛けが外れ転倒し、けがの原因になります。
- **ひじ掛けを取り外して使用する場合は、もう一方のひじ掛けは必ず取り付けた状態で使用すること**
  背もたれが破損し、けがの原因になります。

# ご使用前の準備と確認（必要に応じて行う項目）

## 背もたれクッションの位置を調節する



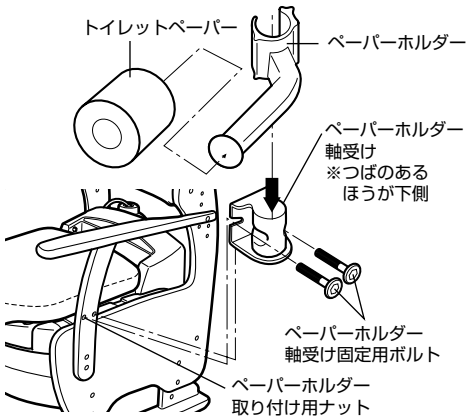

**必要に応じて、背もたれクッションの位置を2段階（前後2cm）調節することができます。**

※本体を箱から取り出した時は前側に付いています。

①背もたれクッションを固定しているボルトをゆるめ、取り外します。

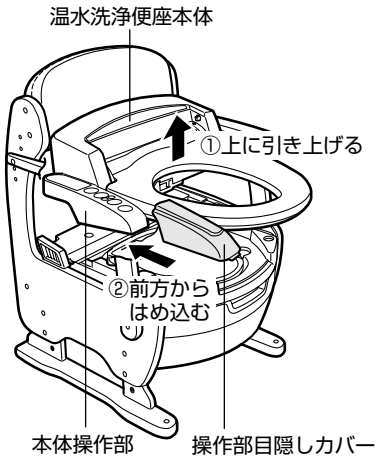
②背もたれクッションの穴位置を選んで、ボルトでしっかりと固定します。

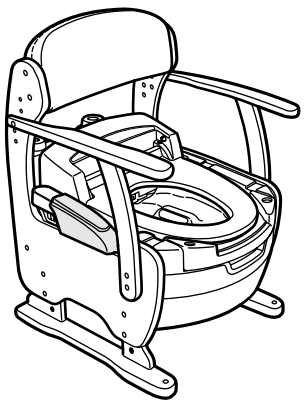
## ペーパーホルダーを取り付ける




**ご使用状況に応じて、取り付け位置を左右のひじ掛けから選択し、ひじ掛け側面のペーパーホルダー取り付け用ナットに軸受けを軸受け固定用ボルトで取り付けます。（上下の向きに注意して取り付けてください。）**
**軸受けにペーパーホルダーを上から差し込みます。**

## 操作部目隠しカバーを取り付ける



**必要に応じて、温水洗浄便座本体の操作部に目隠しカバーを取り付けることができます。**
**これは、移乗を行うときに手や身体が操作部にふれて誤作動したり、子供・幼児などが誤って作動させることを防ぐ目的に使用します。**

※目隠しカバーを取り付けた場合、洗浄・呼出操作はリモコンのみの操作となります。

### ●取り付け方法

①温水洗浄便座本体を上に引き上げポータブルトイレ本体から取り外します。

※便座や操作部を持って引き上げると故障の原因となりますのでご注意ください。

②温水洗浄便座操作部の前方から操作部目隠しカバーをはめ込みます。

※その他、温水洗浄便座本体操作部の洗浄・呼出スイッチを無効にする方法として、操作部のスイッチ操作で停止することができます。
詳しい内容はP17「本体操作部の洗浄・呼出スイッチ無効設定」を参照してください。

# ご使用前の準備と確認（温水洗浄便座の試運転）

## リモコンに電池を入れる

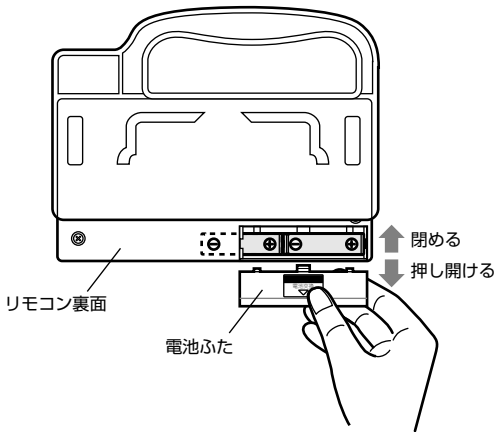
**リモコンの電池カバーを開けて、⊕⊖を合わせて正しく入れてください。**

（付属の単３形乾電池２個：電池寿命は約１年です。）

※電池が切れた場合は、市販の単３形乾電池を購入してください。

**乾電池の破裂や液もれを防ぐために次のことを必ずお守りください。**

●⊕⊖を正しく入れてください。
●乾電池（単3形）をご使用ください。
●交換のときは、同種のものを2個とも同時に交換してください。
●長時間使わないときは取り出しておいてください。




## 給水タンクに水を入れる

**タンク容量は約5リットル**（使用回数の目安：約10回分）

**●給水タンクをポータブルトイレ本体に設置したまま給水する場合**

給水タンクに給水ホースが接続されていないキャップを取り外し、水差しなどで水を満水ラインまで入れます。

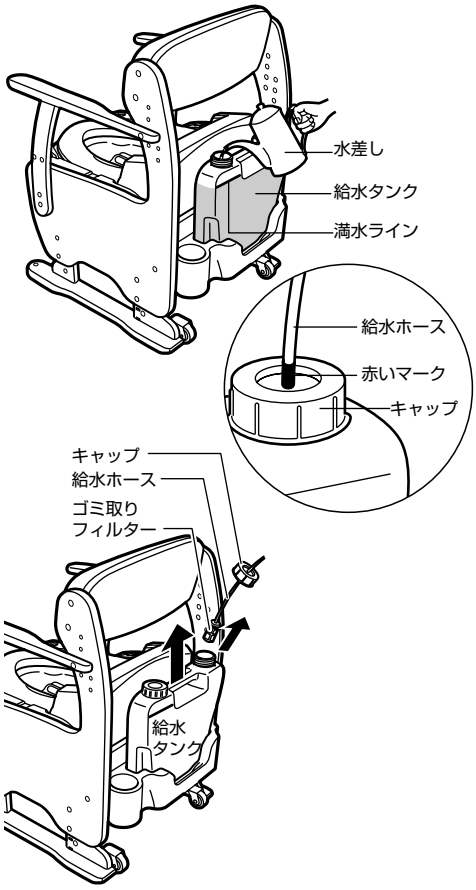
※あふれたり、周りにこぼしたりしないように注意してください。

**●給水タンクを取り外して給水する場合**

給水タンクに給水ホースが接続されているキャップを取り外し、ポータブルトイレ本体から給水タンクを取り外します。水道などから給水タンクに満水ラインまで水を入れてください。

給水後は、給水ホースの赤いマークを給水タンクのキャップ穴まで差し込んでください。

※給水ホースの先端（ゴミ取りフィルター）から水がたれるおそれがあります。タンク内で充分に水を切ってから取り出してください。




**⚠注意**

**給水タンクに熱湯、消毒液や薬品、上水道以外の水、アルカリイオン水などを入れないこと**

やけどや皮膚の炎症を起こしたり、機器の故障・破損の原因になります。

## 漏電しゃ断器のプラグをコンセントに差し込む

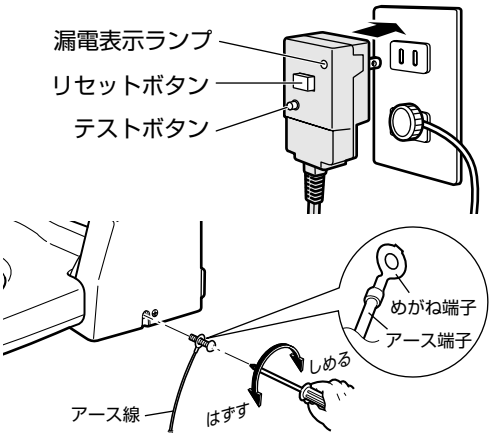
**漏電しゃ断器のプラグをコンセントに差し込みます。**

※本体の電源ランプが点灯しない場合は漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを押してください。P24参照

●本体の電源ランプが点滅した後、点灯に変わります。

**●アース線が接続されていることを確認してください。**

接続されていない場合は、お手入れの方法（P22参照）にしたがって、温水洗浄便座本体を取り外し、下記のように本体にアース線を取り付け、コンセントのアース端子に接続してください。



# ご使用前の準備と確認（温水洗浄便座の試運転）

## 温水洗浄便座本体（温水タンク）に水を給水する

①便座とバケツの間にビニルシートをはさみます。
（シャワーのとび散り防止のため）
※シャワーノズルの位置がビニルシートの下になるようにはさんでください。

②便座の右後部を押し、着座スイッチをON状態にします。
（着座スイッチは本体に内蔵されています）

③ 手順④・⑤が終わるまで、便座の右後部を押し続けます。
※便座から手が離れると、給水が停止しますのでご注意ください。

④（おしり）または（ビデ）を押し、シャワーが出ることを確認します。

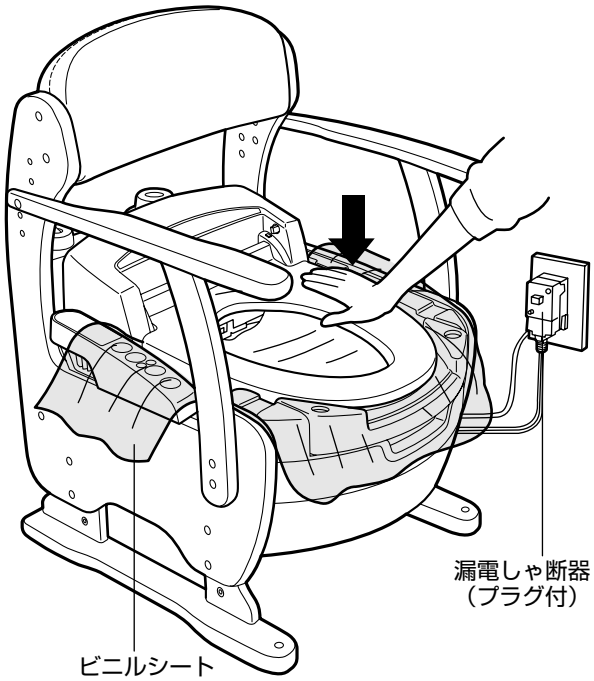
シャワーが出るまでに約1分かかります。ボタンを押してから約30秒後に給水が停止しますので、再度（おしり）または（ビデ）を押してください。

※シャワーは機能上約30秒後に自動停止します。故障ではありません。
※給水中、多少音が発生しますが、異常ではありません。
※温水温度表示ランプの「高」と「低」が同時点滅している場合は、温水タンクの空だき防止の警告表示です。（購入時及び水抜き後は、この表示となります。）水の給水後、温水温度表示ランプの「低」が点灯していることを確認してください。

※水が設定温度になるには、約5～7分かかります。

⑤止めるときは（停止）を押してください。

※洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがあります。これは温水タンクの水が沸き上がったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。
（洗浄後、約7～8分）



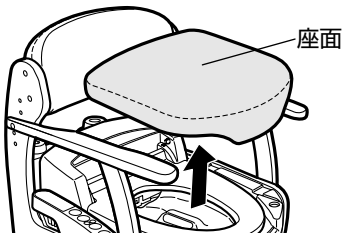

## バケツに水と防臭剤を入れる

防臭効果を高めるために、バケツに水を約1～2リットル（バケツ内側の2と表示されている線まで）を入れ、防臭消耗品を入れてください。

# 使いかた（基本的な使いかた）

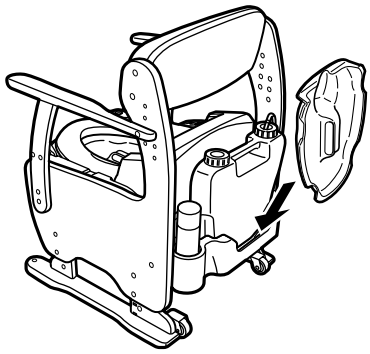
## ❶ 座面を取り外す

●座面前縁部を持ち上げると取り外すことができます。




## ❷ バケツの蓋を取り外し、ポケットに収納する

●バケツの蓋を持ち手が手前に向いた状態で、蓋の先端を下にしてポケット外側の収納場所に差してください。



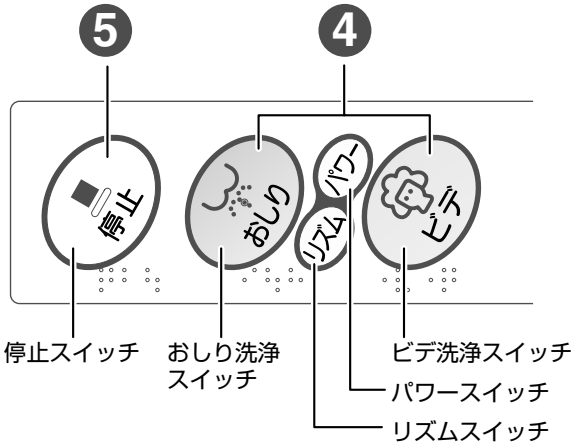
## ❸ 便座の中央後ろ寄りに座る

●脱臭ランプが点灯し、脱臭が始まります。（作動音有り）

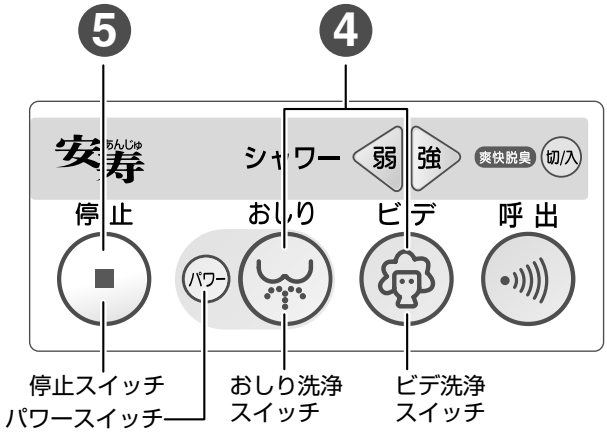
※便座の中央部よりやや後ろ寄りに座らないと、着座スイッチが働かず各機能が使用できません。また、体重10kg以下の方は、着座スイッチが働かない場合がありますのでご注意ください。

## 温水洗浄機能の基本の使いかた

本体操作部




リモコン




## ❹ おしり または ビデ を押し、洗浄する

●シャワー強さ表示ランプが点灯します。

●お好みに合わせて、パワー または リズム で洗浄できます。

P13・14参照

※リモコンでは パワー のみ選択できます。

●洗浄は約30秒間続けて使用すると、自動的に停止します。

●長時間洗浄（中間のシャワー強さで約70秒/パワー洗浄使用で約40秒）すると水に変わります。
※シャワーを止め、約5〜7分待つとお湯になります。

# 使いかた（基本的な使いかた）

## 5 停止を押して止める

●ノズルクリーニングの水が出ます。（停止後すぐに立ち上がった場合は出ません）
●脱臭は、便座から立ち上がると、約2分後に自動停止します。

## 6 使用後の汚物処理

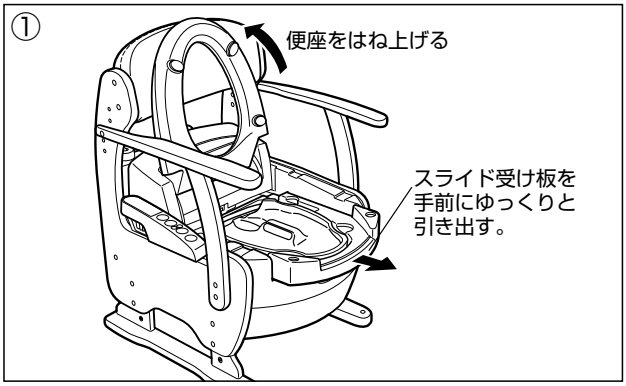
①便座をはね上げ、スライド受け板を手前にゆっくりと引き出します。

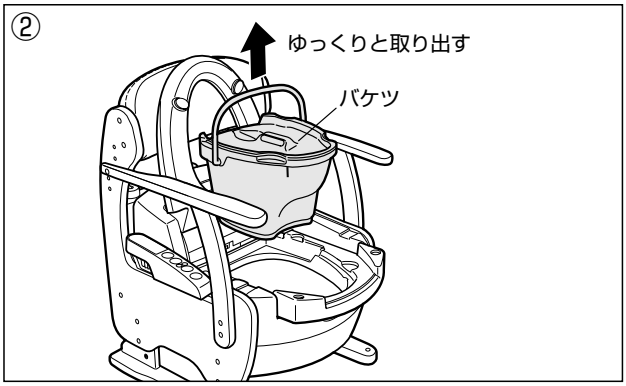
②バケツに蓋をして、柄をしっかり持ってゆっくりとバケツを取り出します。

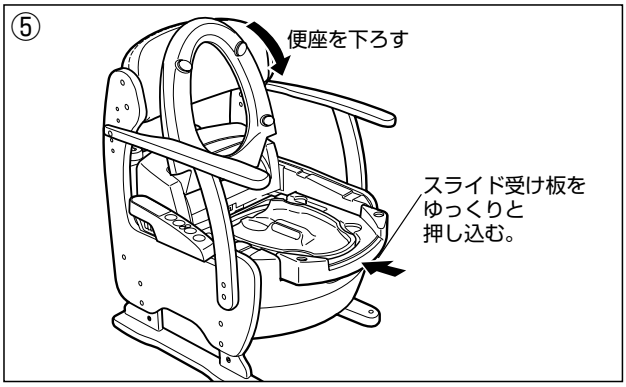
③汚物をトイレに流します。

④バケツ洗浄後、水と防臭消耗品をセットします。

⑤スライド受け板にバケツをセットし、スライド受け板を奥へゆっくりと押し込んでから便座を下ろします。



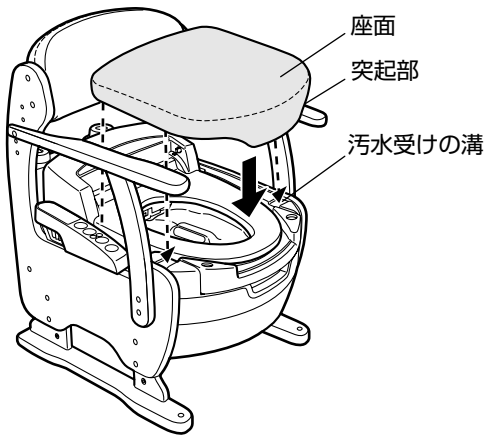

**警告**

**スライド受け板を手前に引き出した状態で便座を下ろしたり、座ったりしないこと**
けがや破損の原因になります。

●バケツ内の水や汚物は、使用のたびに処理をしてください。
※連続して使用するとバケツ内の水や汚物があふれたり、処理しづらくなるおそれがあります。

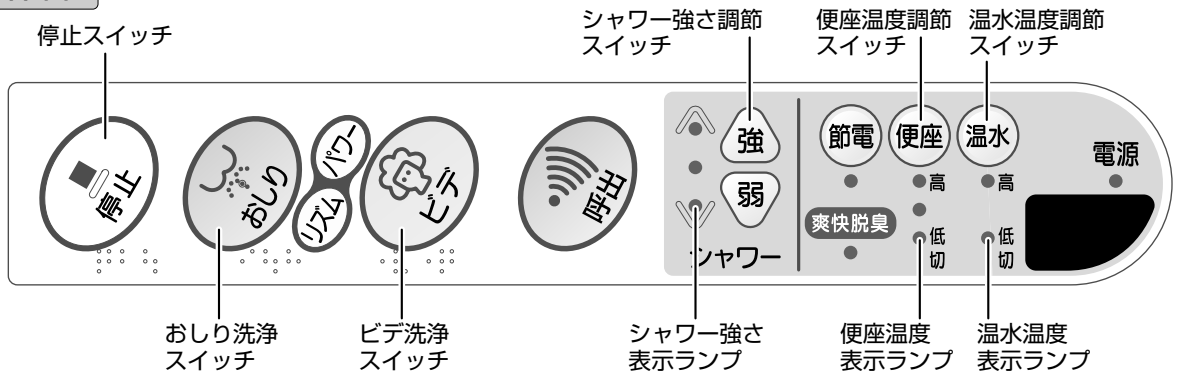
## 7 座面を取り付ける

●座面裏面にある突起部を本体汚水受けの溝に合わせて設置してください。



# 使いかた（温水洗浄便座機能）

## 本体操作部




## シャワー強さの調節（本体操作部・リモコン）

### シャワーを出している状態で

### 強 または 弱 を押す

●最初は中間のシャワー強さで洗浄が始まります。（イラスト中の●は点灯を表示しています）

●リズム洗浄・パワー洗浄のときは、シャワー強さの調節はできません。

本体操作部で おしり または、ビデ スイッチを操作したときは、本体操作部 強 弱 で

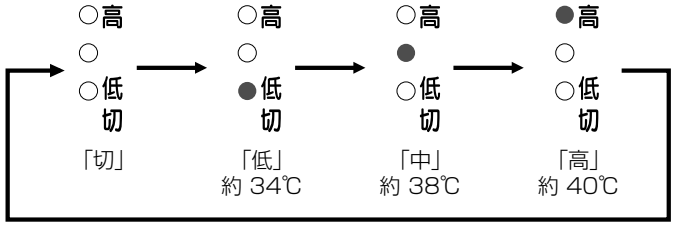
リモコン（おしり）（ビデ）スイッチを操作したときは、リモコン 弱 強 で調節してください。

上記以外で調節した場合は、正常に作動しないことがあります。

## 便座温度の調節（本体操作部）

### 便座 を押す

●押すごとに便座温度表示ランプが切り替わります。

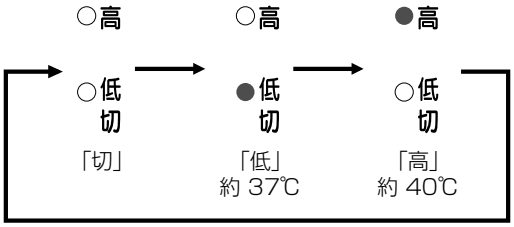



※最初は「中」約38℃に設定されています。

## 温水温度の調節（本体操作部）

### 温水 を押す

●押すごとに温水温度表示ランプが切り替わります。



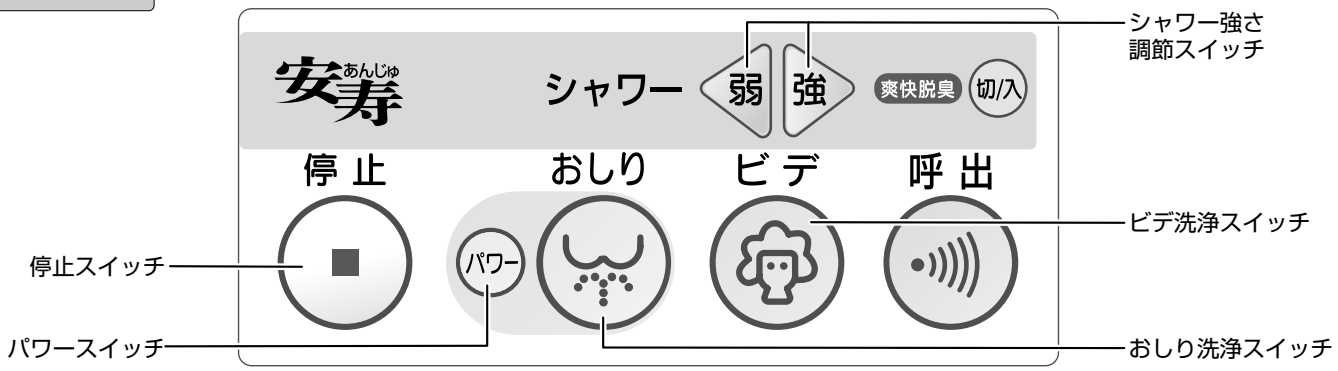

※最初は「低」約37℃に設定されています。

●暖房便座での低温やけど防止のため、着座後、自動的に約30℃まで温度を下げる機能を設けています。

●漏電しゃ断器のプラグを抜いたときやリセットボタンを押したとき、停電が1秒以上続いたときはシャワー強さ、便座温度、温水温度の設定が取り消されますので、再設定してください。

# 使いかた（温水洗浄便座機能）

リモコン




## パワー洗浄（本体操作部・リモコン）

**たっぷりのシャワー強さで、早くきれいに洗浄します。**

**おしり または ビデ 洗浄中に**

**パワー を押す**

●シャワー強さ表示ランプが点滅します。

（イラスト中の●は点灯を表示しています）

●再度 おしり または ビデ を押すと、通常の洗浄に戻ります。

※最初に パワー を押した場合は、おしりのパワー洗浄となります。

**▶洗浄を止めるには…**

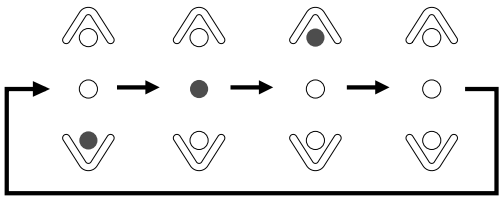
**停止 を押す**

## リズム洗浄（本体操作部）

**シャワーの強さを弱から強に自動的に繰り返し、おしりを心地よく刺激します。**
**便秘気味の方におすすめします。**

**おしり 洗浄中に**

**リズム を押す**



（イラスト中の●は点灯を表示しています）

●シャワー強さ表示ランプが順番に点灯をくり返します。

●再度 おしり を押すと、通常の洗浄に戻ります。

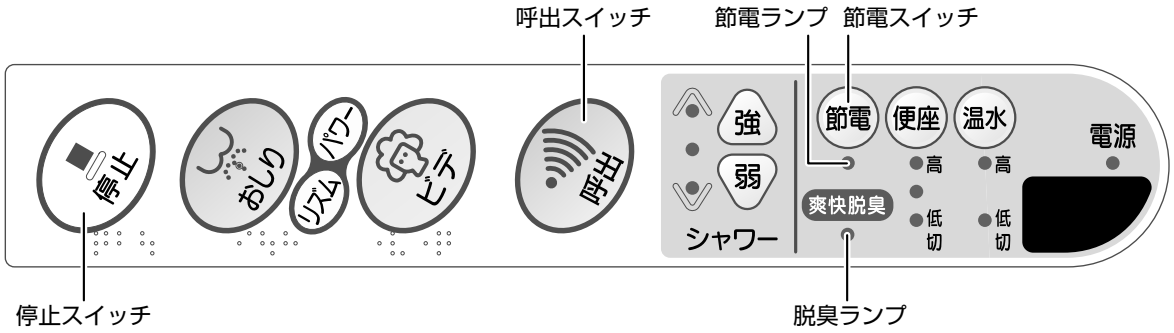
※最初に リズム を押した場合は、おしりのリズム洗浄となります。

**▶洗浄を止めるには…**

**停止 を押す**

# 使いかた（温水洗浄便座機能）

本体操作部




## 脱臭機能の設定（本体操作部・リモコン）

**脱臭機能はトイレ使用時、バケツ内の臭いを強力に脱臭します。**
**（効果は約7年持続します）**

●脱臭機能は、便座に着座すると脱臭ランプが点灯し、自動的に脱臭がはじまります。（作動音あり）

●便座から離れると、約2分後に自動的に止まります。

※脱臭機能は、着座状態が約30分以上続くと自動的に止まります。

●脱臭機能を停止するには、本体操作部の（■ 停止）、またはリモコンの 爽快脱臭 （切/入）を押して停止します。

※リモコンの（■）（停止）ボタンでは、停止しません。

●再度、脱臭機能を作動するにはリモコンの 爽快脱臭 （切/入）を押すか、便座に座りなおしてください。

## 呼出ブザー（本体操作部・リモコン）

**呼出ブザーは、トイレ使用前後などにお世話をしてもらうため、介助者を呼ぶ目的で使用します。**

### （呼出）を押す

●「ピ・ピ・ピ…」という電子音が鳴ります。

### ▶呼出ブザーを止めるには…

### （■ 停止）を押す

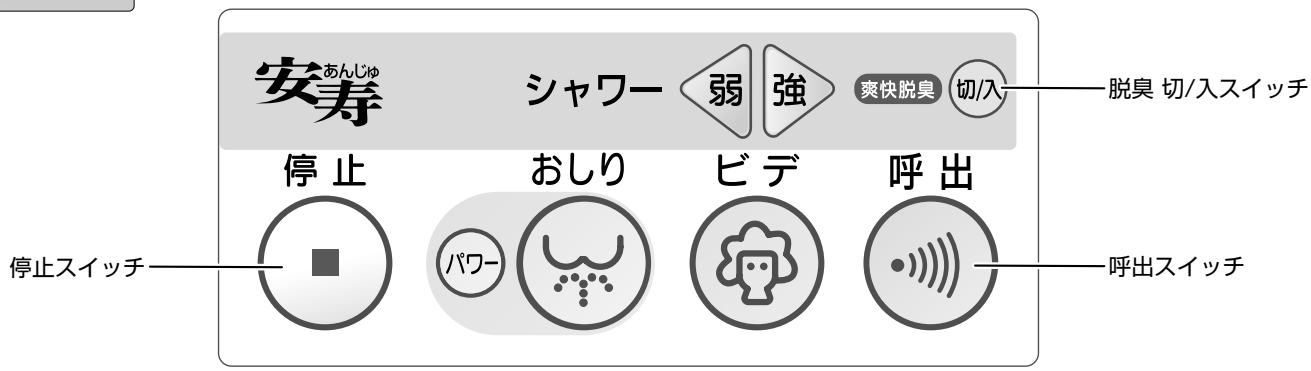
※呼出ブザーは、作動状態が約30分続くと自動的に止まります。

●呼出ブザー機能を停止したいとき（子供や使用者が誤って呼出ブザーを鳴らすおそれがある場合）
**本体操作部の（■ 停止）と（呼出）を同時に2秒以上押し続けると機能を停止することができます。**
※呼出ブザー機能を復帰するには、停止と同様の方法で復帰します。

●漏電しゃ断器のプラグを抜いたときやリセットボタンを押したとき、停電が1秒以上続いたときは設定が取り消されますので、再設定してください。

# 使いかた（温水洗浄便座機能）

リモコン




## 節電機能の設定（本体操作部）

**1日24時間を1時間ごとに刻み、マイコンが各時間帯ごとの着座状況を学習し翌日からは着座していない時間帯ごとに設定温度を自動的に下げて節電します。**

### 節電 を押す

●節電ランプが点灯します。

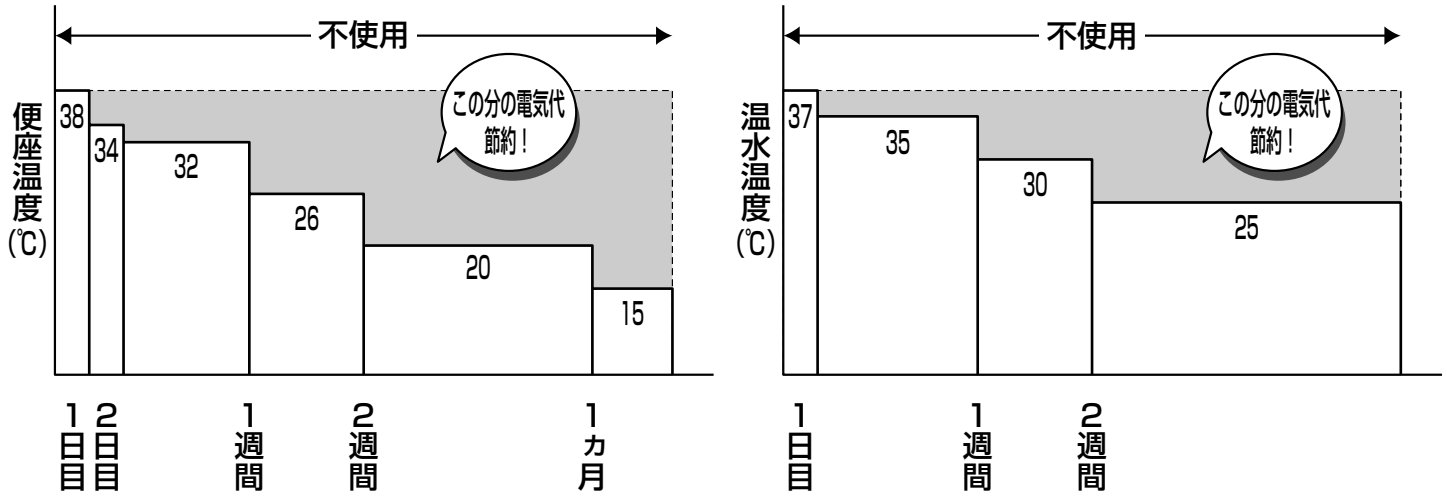
▶「切」にするには…

### 再度 節電 を押す

●節電ランプが消灯します。
●自動的に設定温度に戻ります。
（便座の場合は温度上昇に約1～2分、温水温度の場合は約3～5分かかります）

**温度設定を便座温度「中」（38℃）、温水温度「低」（37℃）に設定した場合**

例えば真夜中の2時から3時の1時間使用しない日が続くと、下図のように自動的に温度を下げていきます。
便座温度は1ヵ月後に15℃まで、温水温度は2週間後に25℃まで温度を下げます。

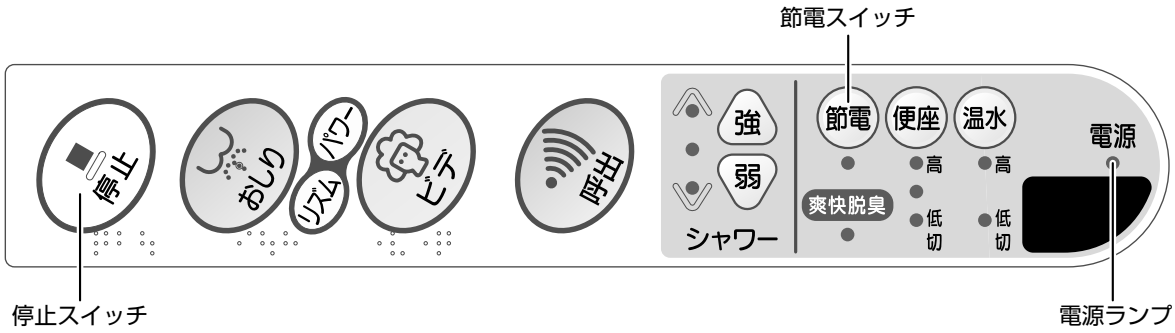



▶節電中に着座すると…

●暖房便座は約1～2分で暖かくなります。
●温水温度は約3～5分で暖まります。
●漏電しゃ断器のプラグを抜いたときやリセットボタンを押したとき、停電が1秒以上続いたときは設定が取り消されますので、再設定してください。

# 使いかた（その他機能）

本体操作部




## 本体操作部の洗浄・呼出スイッチ無効設定（本体操作部）

**ポータブルトイレに移乗を行うときに、手や身体が本体操作部にふれて誤作動したり子供・幼児などが誤って作動させることを防ぐ目的に使用します。**

### ■停止と節電を2秒以上押す

●電源ランプが1回点滅します。

### ▶設定を解除するには…

### 再度■停止と節電を2秒以上押す

●電源ランプが1回点滅します。

●この設定を行った場合、洗浄・呼出機能は、リモコンのみの使用となります。

※P8の「操作部に目隠しカバーを付ける」と併用して利用されることをおすすめします。
※その他の機能は正常に働きます。

●漏電しゃ断器のプラグを抜いたときやリセットボタンを押したとき、停電が1秒以上続いたときは設定が取り消されますので、再設定してください。

# お手入れの方法

お手入れの前に必ず、漏電しゃ断器のプラグを抜いてください。

## 日常のお手入れ

**1** やわらかい布で水ぶきし、よくしぼった布でふきとる

●乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
本体に傷がつく原因になります。

**2** 汚れが目立つときは、
中性洗剤をやわらかい布にふくませて、汚れをふきとり
そのあと水ぶきする

**⚠警告**

**お手入れの前に必ず、漏電しゃ断器のプラグを抜いて、電源を切ること**
感電やショートして火災の原因になります。
**温水洗浄便座本体、本体底部や漏電しゃ断器のプラグに水や洗剤をかけないこと**
感電やショートして火災の原因になります。

**⚠注意**

**たわしや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等を使用しないこと**
本体や便座などを傷つける原因になります。
**塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は使用しないこと**
金属部を腐食させ、プラスチックが劣化・破損し、けがの原因になります。

## スライド受け板・汚水受けのお手入れ

●汚水やシャワーのとび散りにより、スライド受け板や汚水受けに汚れがたまることがあります。

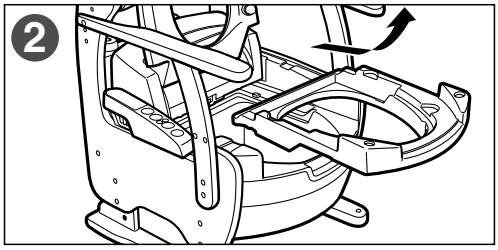
**1** 便座をはね上げ、スライド受け板を
手前に引き出し、バケツを取り出す

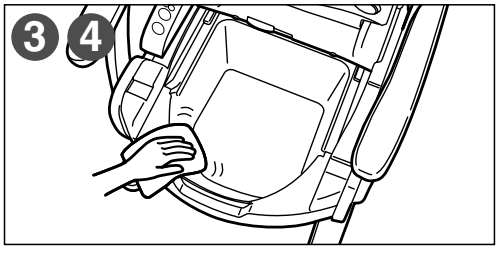
**2** スライド受け板を↗方向に
引き上げ取りはずす

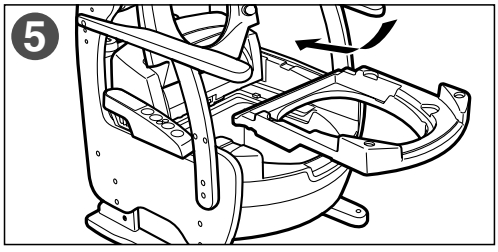
**3** 中性洗剤で洗い、水ですすぎ、
よくしぼった布でふく

**4** 汚水受けの汚れは、中性洗剤を
やわらかい布にふくませて汚れを
ふきとり、そのあと水ぶきする

**5** スライド受け板を↙方向に差し
込み取り付ける



# お手入れの方法

## 汚水受けのお手入れ（取り外して洗浄する場合）

**1** 漏電しゃ断器のプラグを抜く

**2** 座面を取り外し、給水タンクから給水ホースを抜く

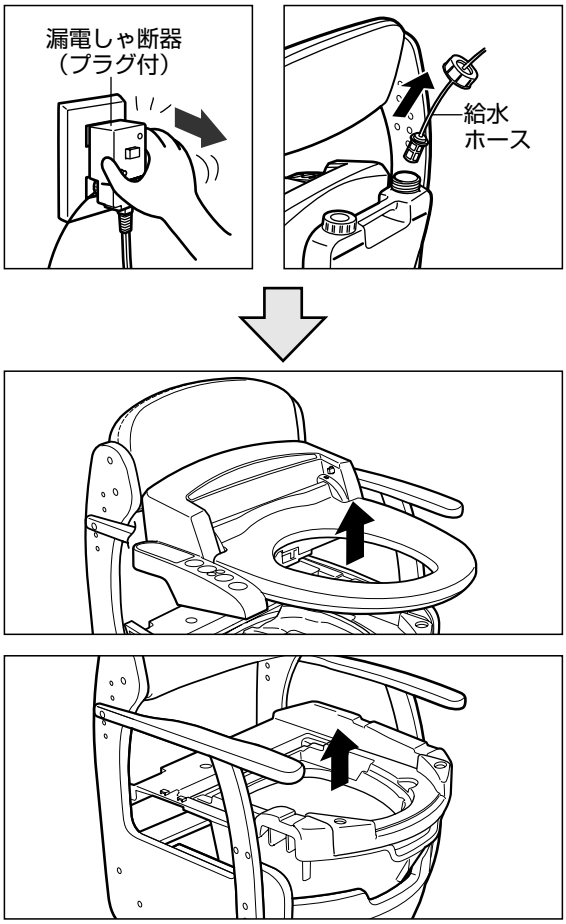
**3** 温水洗浄便座本体の両側部を持ちながら上に引き上げ、取り外す

※便座や操作部を持って、上に引き上げないでください。破損し、故障の原因になります。

**4** ポータブルトイレ本体から汚水受けを上に引き上げ取り外す

**5** 中性洗剤で洗い、水ですすぎ、よくしぼった布で水気をふき取る

※温水洗浄便座を取り付ける場合、電源コードや給水ホースが挟まったり、折れ曲がったりしないよう注意してください。感電や水が出ない原因となります。




## おそうじパネルとノズルのお手入れ

●水あかなどにより、ノズルの動きが悪くなる場合があります。
●お手入れは、スライド受け板・バケツをセットした状態で行うか、温水洗浄便座本体をポータブルトイレ本体から取りはずしてください。

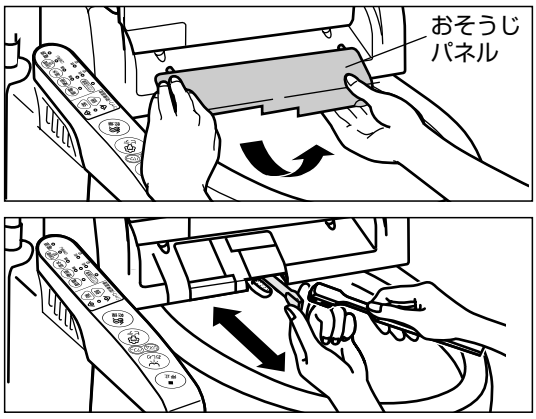
**1** おそうじパネルの下側を引っぱって取りはずす

**2** 中性洗剤で洗い、水ですすぎよくしぼった布でふく

**3** ノズルを引き出し、歯ブラシで洗う
●おしり、ビデノズルそれぞれ洗浄してください。

**4** ノズルを引き出したり、戻したりする
●手を離してノズルがスムーズに戻ることを確かめてください。

**5** 凹部に合わせておそうじパネルを取り付ける




※ノズルを戻すとき、水が出ることがありますので、ご注意ください。
※ノズルを曲げないようご注意ください。

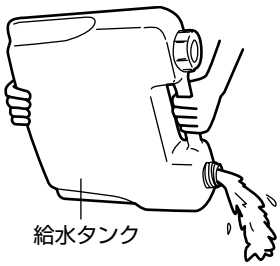
※おそうじパネルを外した状態で使用しないでください

# お手入れの方法

## 給水タンクとゴミ取りフィルターのお手入れ

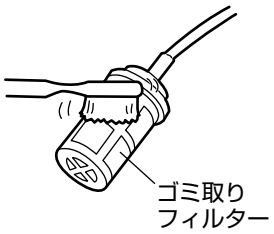
●給水タンクは1日に1回取りはずして、タンク内を水ですすぎ洗いしてください。
●ゴミ取りフィルターに水あかやゴミ等がつまると、シャワーの出が悪くなる場合があります。

**1** 給水タンクのキャップを取りはずし、ポータブルトイレから給水タンクを取り出し､洗浄する




**2** 給水ホースの先端にあるゴミ取りフィルターをやわらかいブラシ等できれいに水洗いする

※ネットを破らないよう注意してください。
※給水ホースを引っぱり、破損しないようご注意ください。

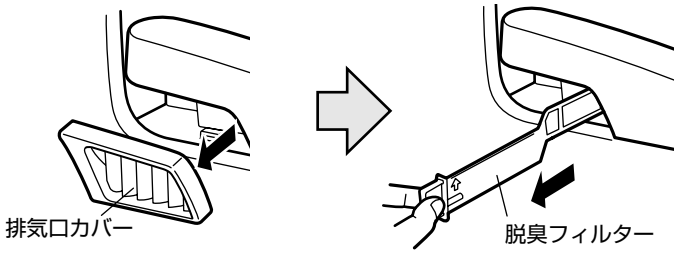



**3** 給水タンクを元に戻し､キャップをしめる

## 脱臭フィルターのお手入れ

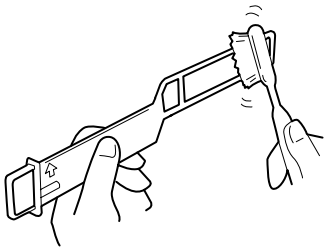
●脱臭フィルターにほこりがつまると、効果的な脱臭性能が得られなくなります。
●脱臭フィルターは、月一回程度お手入れをしてください。

**1** 排気口カバーを取り外し、つまみを持って脱臭フィルターを引き出す

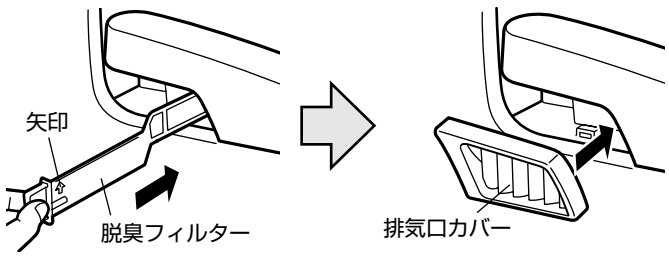



**2** 掃除機や乾いた歯ブラシでほこりを取り除く

※ネットを破らないように注意してください。



**3** 脱臭フィルターの ⬆（矢印）を上にして元にもどし排気口カバーをはめ込む




※脱臭フィルターを必ず取り付けてください。
（脱臭フィルターを付けずに使用すると、脱臭効果が低下します）

# お手入れの方法

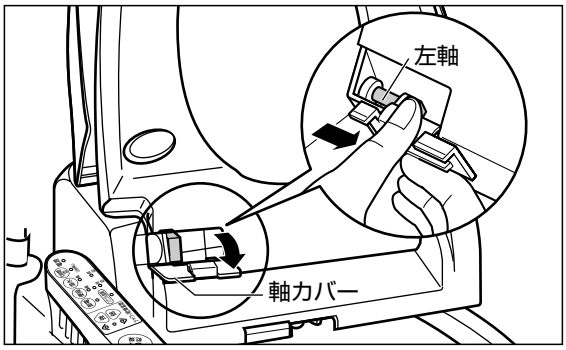
## 暖房便座／温水洗浄便座本体のお手入れ

●便座の左側を持ち上げることができ、便座裏面の汚れをふき取ることができます。
●お手入れの後は必ず元どおりに取り付けてご使用ください。

### ❶ 便座をはね上げ、軸カバーを↘方向に開く

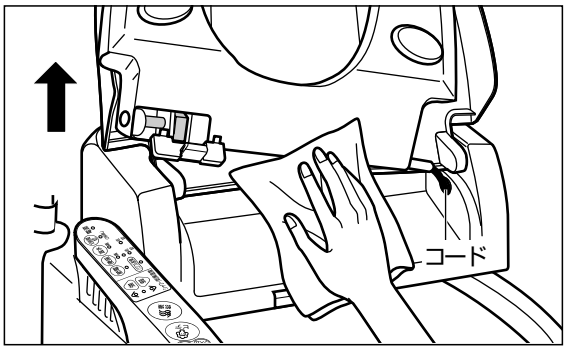
### ❷ 便座を軽く支えながら軸カバーを↘方向にスライドさせて便座の左軸を抜く

●便座をほぼ垂直の状態にして、前後に動かすと抜きやすくなります。




### ❸ 便座を⬆方向に上げる

※便座は本体とコードで接続されています。
無理に引っぱったり、ねじったりすると故障の原因になります。

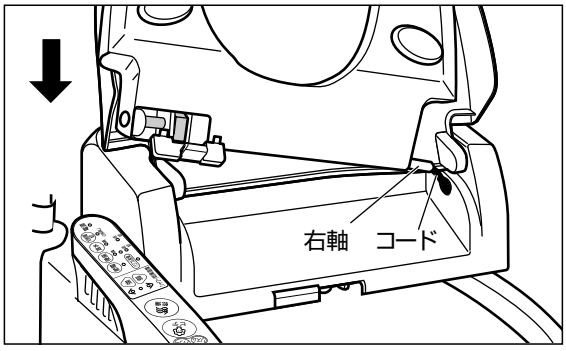



### ❹ 暖房便座／温水洗浄便座本体の汚れをふき取る

●やわらかい布に中性洗剤をふくませ汚れをふき取り、そのあと水ぶきします。最後によくしぼった布でふき取ります。

### ❺ コードを本体内に戻し、便座の右軸を元どおりにセットする

※コードを傷つけないように注意ください。
故障の原因になります。

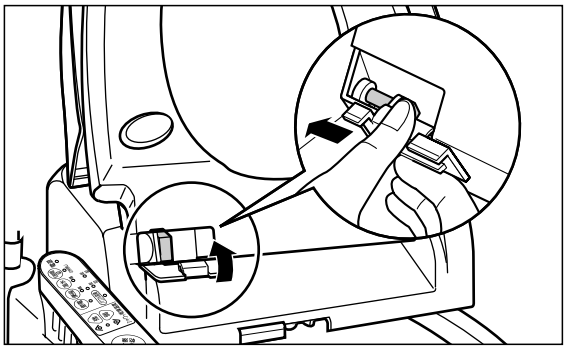



### ❻ 便座の左軸を元どおりに本体の穴に合わせて軸カバーを↖方向にスライドさせる

●本体に便座の左軸が確実にセットされていることを確認してください。
●便座をほぼ垂直の状態にして、前後に動かすと入りやすくなります。

### ❼ 軸カバーの中央部を押さえて閉じる

※必ずカバーを閉じてご使用ください。

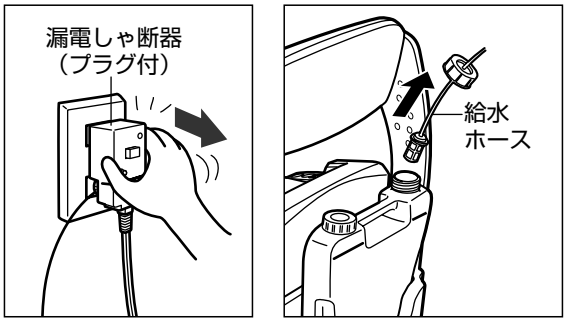


# お手入れの方法

## 温水洗浄便座本体裏面のお手入れ

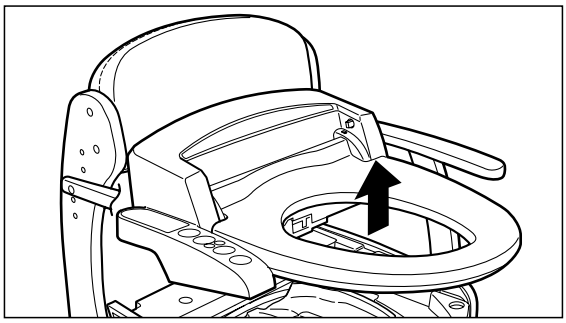
### ❶ 漏電しゃ断器のプラグを抜く

### ❷ 座面を取りはずし、給水タンクから給水ホースを抜く




### ❸ 本体の両側部を持ちながら上に引き上げ、取り外す

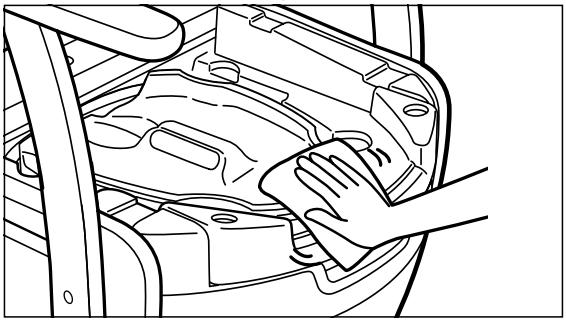
※便座や操作部を持って、上に引き上げないでください。
破損し、故障の原因になります。



### ❹ かくれたポータブルトイレ本体部分などの汚れをふき取る

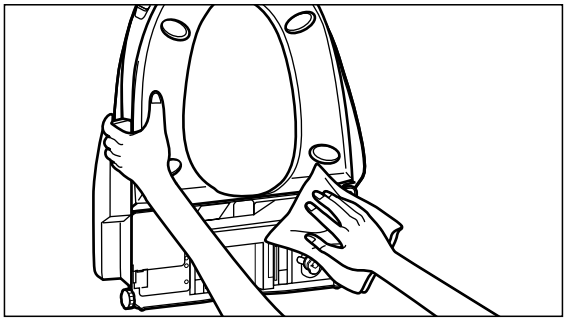
●やわらかい布に中性洗剤をふくませ汚れをふき取り、そのあと水ぶきします。
最後によくしぼった布でふき取ります。

※水が温水洗浄便座本体内に入ると故障の原因になります。



### ❺ 本体を立てた状態にし、本体裏面の汚れをふき取る

※本体を立てるとき、給水パイプや電源コードなどに無理な力を加えないよう注意してください。
※本体を裏返したり、傾けないでください。



**警告**

**本体底部などに水や洗剤をかけないこと**
感電や、ショートして
火災の原因になります。

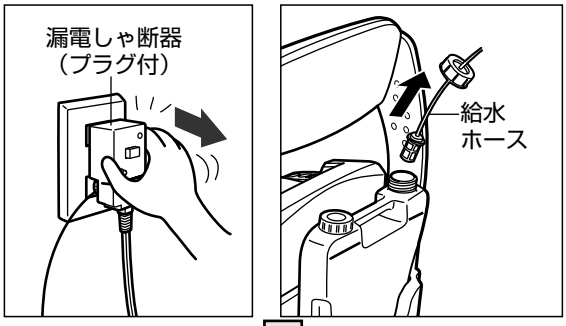
# 水抜きのしかた

**寒い地域の凍結予防や、長期間（１週間以上）使用しない場合には、水抜きをしてください。**

> ⚠ 注意
> **凍結予防をすること**
> 凍結すると給水ホースや本体内部が破損して水もれの原因になります。
> 「水抜き」をしてください。

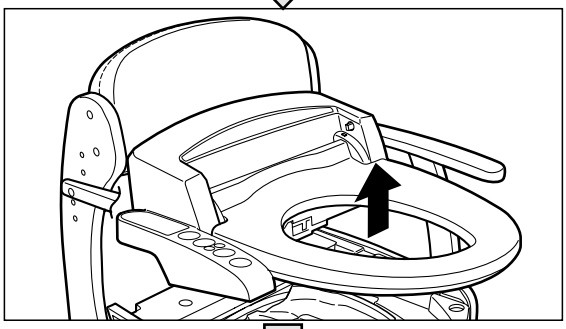
## ❶ 漏電しゃ断器のプラグを抜く

## ❷ 給水タンクから給水ホースを抜く



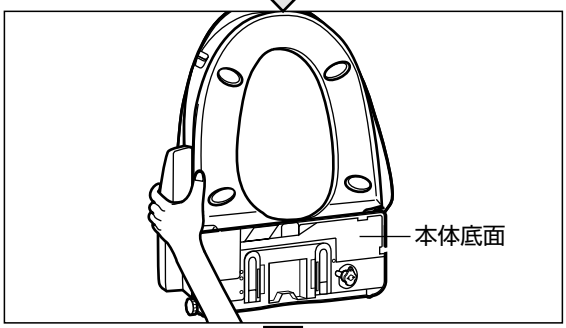

## ❸ 本体の両側部を持ちながら上に引き上げ、取り外す

※便座や操作部を持って、上に引き上げないでください。
破損し、故障の原因になります。

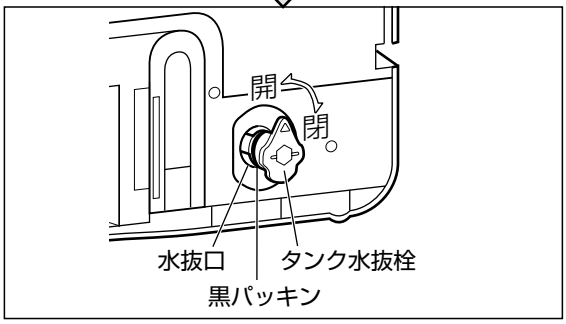


## ❹ 本体を立て、本体底面にあるタンク水抜き栓を「開」側に回して、水が出るまで引き出し本体底面を下にする

※タンク水抜き栓の黒パッキンが見えるまで引き出してください。
※本体を立てるとき、給水パイプや電源コードなどに無理な力を加えないよう注意してください。
※本体を裏返したり、傾けないでください。




## ❺ 水抜き後、タンク水抜き栓を押し込み「閉」側に回し本体を元の位置に戻す




●再運転は、P9、10の手順に従って本体内（温水タンク内）に給水を行ってください。

# 定期点検／上手な使いかた

## 定期点検

### ■漏電しゃ断器（プラグ付）（点検の目安…月に1～2回）

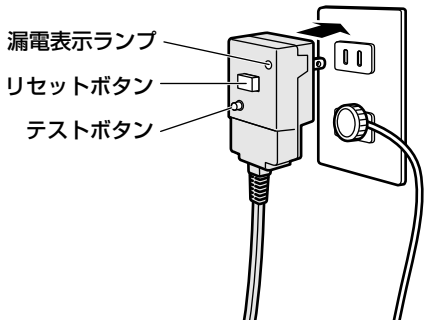
**1** テストボタンを押す

●正常なとき、漏電表示ランプが点灯します。

**2** リセットボタンを押す

●正常なとき、漏電表示ランプが消灯します。

※点検時以外に、テストボタン、リセットボタンを押さないでください。




## 上手な使いかた

### ■地球環境保護のためにも上手に使って節電しましょう

#### 座面を閉じましょう

使用しないときは座面を
閉じてください。無駄な放熱を
防ぎ節電になります。

P12参照

#### 温度調節を低めにしましょう

冷たさを感じない範囲で、
温度調節を低めに調節すると
節電になります。

P13参照

#### シャワーの出しすぎに注意しましょう

汚れが落ちる範囲で、こまめにシャワーを止めましょう。
※約30秒後に自動停止します。

#### 節電スイッチを使用しましょう

使用中以外では便座温度、
温水温度を下げて節電します。

P16参照

# 故障かな？と思ったら

**修理を依頼される前に、この表をよくお読みの上、症状を確かめてください。**
**これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

| 症　状 | 調べるところ・原因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電源ランプが消灯している | 漏電しゃ断器（プラグ付）がコンセントに確実に差し込まれていますか | 漏電しゃ断器（プラグ付）を差し込み直す P9参照 |
| | 漏電しゃ断器（プラグ付）の漏電表示ランプが点灯していませんか | リセットボタンを押す P24参照 |
| おしり・ビデ洗浄水が出ない／出が悪い | おしり・ビデ洗浄水が出ない場合の確認は、必ず着座状態で行うか、便座右後部を押し続けた状態で本体操作部のおしり・ビデスイッチを押して確認してください。（リモコンでの操作は行わないでください。） P10参照<br>便座右後部から手を離すと水は出ません。<br>※脱臭ランプが点灯し、脱臭ファンが回っている状態でも、着座スイッチONの状態が継続しないと洗浄水は出ません。必ず便座右後部を押し続けた状態で確認してください。 | |
| | 初めて使用する（設置する）場合、温水洗浄便座の試運転を行いましたか？ | 温水洗浄便座の試運転を行う P10参照 |
| | 温水タンクに水が入っていますか（温水温度表示ランプの「高」と「低」が同時点滅している） | 温水洗浄便座本体に水を給水する P10参照 |
| | 給水タンクに水が入っていますか（水が少なくなっていませんか） | 給水タンクに水を給水する P9参照 |
| | 給水タンクに熱湯を入れていませんか | 給水タンクに水を給水する<br>熱湯を入れると、安全装置が働き、洗浄水は出ません。 |
| | 給水ホースがユニットに挟まったりして折れ曲がっていませんか | 給水ホースの挟まったり、折れ曲がったりしている部分を直す |
| | 給水ホースが給水タンクに接続されていますか | 給水ホースを給水タンクに正しくセットする P9参照 |
| | 給水ホースの赤いマークがキャップ穴まで挿入されていますか | |
| | ゴミ取りフィルターにゴミがつまっていませんか | ゴミ取りフィルターを掃除する P20参照 |
| | ゴミ取りフィルターが給水タンクの途中に引っ掛かったりしていませんか | ゴミ取りフィルターが給水タンクの底に届くように直す |
| | ノズルに水あかなどがつまっていませんか | ノズルの掃除をする P19参照 |
| | 便座の先端部に座っていませんか | 便座の中央部よりやや後ろめに座りなおす P11参照 |
| | リモコンで操作をおこなっていませんか | P26リモコンが作動しない項目を確認<br>洗浄水の出る・出ないの確認は、必ず本体操作部で行ってください |
| | 本体操作部の洗浄・呼出スイッチ無効設定をしていませんか | 無効設定を解除する P17参照 |

# 故障かな？と思ったら

| 症　状 | 調べるところ・原因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 洗浄水が冷たい | 長時間洗浄(約70秒以上)をしていませんか | 洗浄を止めて、約5～7分待つ P11参照 |
| | 温度調節スイッチが「切」になっていませんか | 温水温度を調節する P13参照 |
| | 節電ランプが点灯していませんか | 節電を切る P16参照 |
| ノズル付近から水がもれている | 温水タンクの水が沸き上がったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。 | |
| 便座が冷たい | 温度調節スイッチが「切」になっていませんか | 便座温度を調節する P13参照 |
| | 節電ランプが点灯していませんか | 節電を切る P16参照 |
| | 座面を閉じたとき、着座スイッチが作動した状態が続いていませんか（座面がずれている） | 座面を正しい位置にセットする P12参照 |
| 脱臭効果が弱くなった | 脱臭フィルターにほこりがつまっていませんか | 脱臭フィルターの掃除をする P20参照 |
| 脱臭が止まらない | 座面がずれて設置されていませんか | 座面を正しい位置にセットする P12参照 |
| ブザーが鳴らない | 本体操作部の洗浄・呼出スイッチ無効設定をしていませんか | 無効設定を解除する P17参照 |
| | 呼出ブザー機能を停止していませんか | 停止設定を解除する P15参照 |
| リモコンが作動しない | 電池が切れていませんか | 電池を新品と交換する P9参照 |
| | 電池の⊕⊖を逆に入れていませんか | 電池を正しくセットする P9参照 |
| | リモコン発光部にゴミ・ほこりがついていませんか | ゴミをとる |
| | リモコン発光部・受光部がおおわれていませんか | おおいを取る |

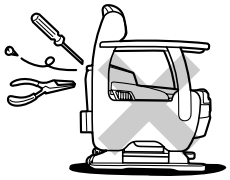
**次のような場合には必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。**

●本体の便座温度表示ランプや温水温度表示ランプの「高」又は「低」が点滅する。
●漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを押しても本体の電源ランプが点灯しない。
●けむりが出たり、異常な音やにおいがする。（漏電しゃ断器のプラグを抜くこと）

**⚠警告**

**改造はしないこと　また修理技術者以外の人は分解したり修理をしないこと**

感電や発火したり、異常作動してけがの原因になります。
●修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



# 仕様

| 品名 / 項目 | | 家具調トイレAR-K1<br>爽快シャワー |
|---|---|---|
| 寸法 | | 幅57×奥行67×高さ76.5～88.5cm |
| 重量 | | 約25kg |
| 便座高 | | 33・36・39・42・45cm |
| ひじ掛け高さ（便座から）・内寸 | | 高さ：21・24・27・30cm　内寸：44cm |
| 材質 | | 構造部材：天然木（ラバーウッド） |
| | | 表面加工：ウレタン樹脂塗装 |
| | | 座面・背もたれ張り材：合成皮革 |
| | | 座面・背もたれクッション：ウレタンフォーム |
| | | 温水洗浄便座本体・バケツ：ポリプロピレン |
| | | 給水タンク：ポリエチレン |
| 給水タンク容量 | | 約5リットル |
| バケツ容量 | | 約10リットル |
| 定格 | 電源 | 交流100V　50/60Hz |
| | 消費電力 | 420W（本体：365W　便座：55W） |
| 電源コード長さ | | 1.0m　※漏電しゃ断器付（定格感度電流15mA） |
| 暖房便座 | 標準表面温度 | 「切」室温、3段階電子制御「低」34℃/「中」38℃/「高」40℃ |
| | ヒーター容量 | 55W |
| | 安全装置 | 温度ヒューズ |
| 脱臭装置 | 脱臭剤 | 触媒吸着脱臭 |
| | 脱臭風量 | 0.15$m^3$/min |
| 洗浄装置 | 最大流量 | パワー洗浄（おしり/ビデ洗浄：1.1L/分） |
| | 流量調節 | 3段階（約0.7～0.96L/分） |
| | 標準温水温度 | 「切」水温、2段階電子制御「低」37℃/「高」40℃ |
| | ヒーター容量 | 350W |
| | 温水タンク容量 | 約1.4L |
| | 安全装置 | 温度ヒューズ・温度過昇防止装置 |
| 呼び出しブザー | | 周波数　2.6kHz |
| ワイヤレスリモコン | | 単3形乾電池2本 |
| その他安全装置 | | 漏電しゃ断器（プラグ付）・着座スイッチ内蔵 |

**廃棄上のご注意**　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

## 抗菌樹脂を使用した部分

| |
|---|
| 暖房便座（表面）<br>洗浄ノズル（おしり・ビデ） |
| ●試験機関…(財)日本食品分析センター<br>●試験方法…フィルム密着法<br>●抗菌方法…抗菌剤（銀ゼオライト）を樹脂に練り込み |

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 10.09

製品に関するご意見・お問い合わせは

**お客様相談室**

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）


**アロン化成株式会社**

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011





910659-1